芙蓉書房出版　７月【委託】新刊　配本部数指定のお願い

早稲田の戦没兵士 “最後の手紙”

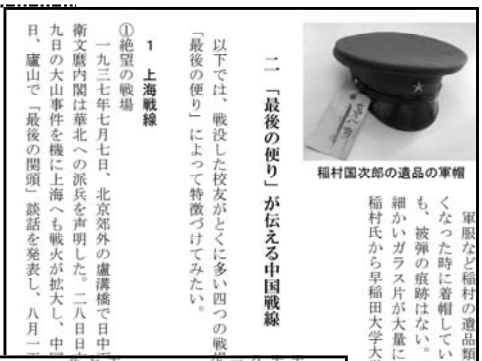
――校友たちの日中戦争―

協力／早稲田大学校友会

早稲田大学大学史資料センター編　Ａ５判ソフトカバー328頁　本体 2,600円　ISBN978-4-8295-0715-5

これは、早稲田版「きけ わだつみのこえ」だ！

日中戦争(1937年～)で戦死した学生らの戦地からの“最後の手紙”が
当時の校友会誌『早稲田学報』に連載されていた
戦争と同時進行で、青年たちの〈肉声〉を伝える貴重な記録



稲村国次郎の遺品の軍帽

軍服など稲村の遺品類は軍から遺族へ返されたが、そのなかのひとつに、亡くなった時に着帽していたとされる軍帽がある。だが、この軍帽のどこを見ても、被弾の痕跡はない。稲村新太郎氏によると、返還された死亡時の軍服には、細かいガラス片が大量に付着していたという。なお、この軍帽は、二〇一五年稲村氏から早稲田大学大学史資料センターへ寄贈された。

二　「最後の便り」が伝える中国戦線

以下では、戦没した校友がとくに多い四つの戦

「最後の便り」によって特徴づけてみたい。

1　上海戦線

①絶望の戦場

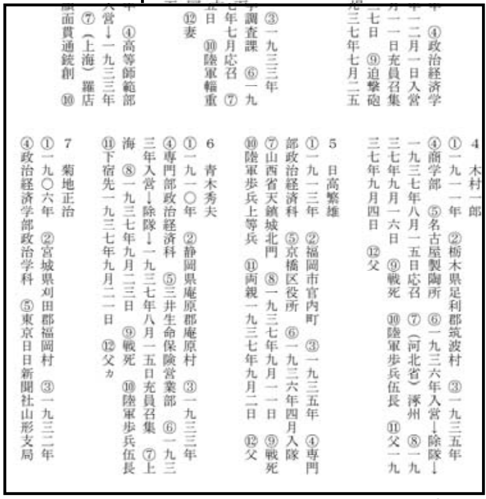
一九三七年七月七日、北京郊外の盧溝橋で日中

衛文麿内閣は華北への派兵を声明した。二八日日

九日の大山事件を機に上海へも戦火が拡大し、中

日、廬山で「最後の関頭」談話を発表し、八月一

▶「解説」より



④政治経済学

年一二月一日入営

月一一日充員召集

二七日　⑨迫撃砲

九三七年七月二五

③一九三三年

調査課　⑥一九

七年七月応召　⑦

日　⑩陸軍輜重

⑫妻

④高等師範部

入営→一九三三年

⑦（上海）羅店

顔面貫通銃創　⑩

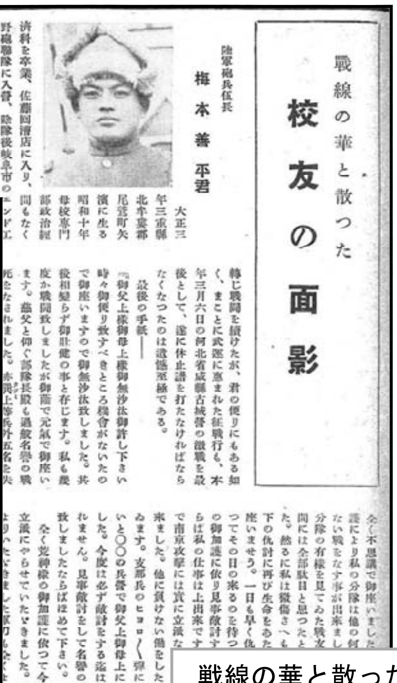
4　木村一郎
①一九一一年　②栃木県足利郡筑波村　③一九三五年
④商学部　⑤名古屋製陶所　⑥一九三六年入営→除隊→
一九三七年八月一五日応召　⑦（河北省）涿州　⑧一九
三七年九月一六日　⑨戦死　⑩陸軍歩兵伍長　⑪父一九
三七年九月四日　⑫父

5　日高繁雄
①一九一三年　②福岡市官内町　③一九三五年　④専門
部政治経済科　⑤京橋区役所　⑥一九三六年四月入隊
⑦山西省天鎮城北門　⑧一九三七年九月一一日　⑨戦死
⑩陸軍歩兵上等兵　⑪両親一九三七年九月二日　⑫父

6　青木秀夫
①一九一〇年　②静岡県庵原郡庵原村　③一九三三年
④専門部政治経済科　⑤三井生命保険営業部　⑥一九三
三年入営→除隊→一九三七年八月一五日充員召集　⑦上
海　⑧一九三七年九月二三日　⑨戦死　⑩陸軍歩兵伍長
⑪下宿先一九三七年九月二一日　⑫父ヵ

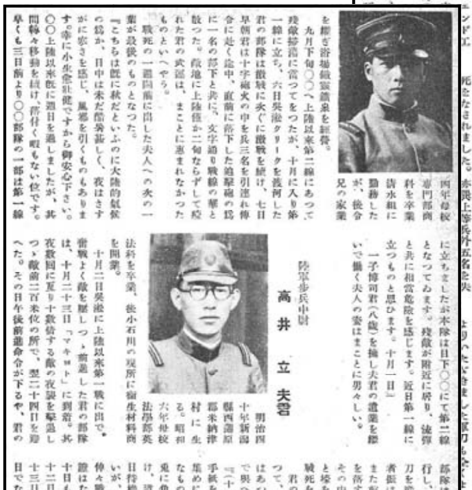
7　菊地正治
①一九〇六年　②宮城県刈田郡福岡村　③一九三二年
④政治経済学部政治学科　⑤東京日日新聞社山形支局

▲掲載された266人の履歴と情報



戦線の華と散った
校友の面影

陸軍砲兵伍長
梅本善平君



陸軍歩兵中尉
高井立夫君

★中国戦線で何を見たのか、どう感じたのか
リアルタイムの記述で浮き彫りになる

戦線の華と散った校友の面影

※『早稲田学報』1937年11月号から1941年8月号まで連載された「戦線の華と散った校友の面影」の全文を影印版で収録

【解説】戦没校友の中国戦線（望月雅士）

※46頁にわたる充実した解説付き

1. 戦没校友266人の戦場記録（特集「戦線の華と散った校友の面影」と戦没校友／「最後の便り」と軍事郵便／虚偽の戦死情報）　2.「最後の便り」が伝える中国戦線（上海戦線／武漢作戦／華北戦線／ノモンハン事件）3. 戦場から伝えたこと（空腹と疲労／敵兵殺害／中国を知る／なぜ手紙や日記を書くのか？／戦場から銃後へ／何のために戦うのか？）

戦没校友266人の履歴と情報

※①生年②出身地③卒業年④卒業学部・部⑤勤務先⑥入営年月日⑦戦没地⑧戦死年月日⑨戦死理由⑩最終階級⑪「最後の手紙」の宛先・差出年月日⑫遺族、のデータを収録

７月中旬　新刊搬入予定です

配本部数申込締切は　７月３日（月）　です

ＦＡＸ　０３－３８１３－４６１５

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

	発行　芙蓉書房出版	注文数	注文者
	早稲田の戦没兵士“最後の手紙”		
	7月新刊　本体 2,600円	部	